

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高齢者向け地域支え合い事業
事業主体 (連絡先)	シルバーカフェ (松本市沢村3-1-8/TEL0263-87-7816)
事業区分	②保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,216,549円

#### 事業内容

3年目の元気づくり支援を受けたシルバーカフェ。登録者も450名ほどとなり、毎日多くの方々にご利用いただいています。本年は大人の塗り絵の作成、(右写真)など、高齢者が心も体も健康になる多くのプログラムを開催することができました。



※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

#### 事業効果

松本市で誕生したシルバーカフェ。経営としては決して難しい業態です。それでも塩尻、諏訪、茅野と有志の方が、この活動に賛同され、カフェを開設することとなりました。各地域で高齢者の方々が安心して楽しく、お互いに支え合う仲間作りのお手伝いが出ています。本年はシルバーカフェの利用者様から大人の塗り絵を行いたいということで、事業計画を変更し作成することとなりました。多くのところで反響を頂き、また沖縄・大阪・東京など県外からご要望を頂きました。

#### 【目標・ねらい】

- 年間 1000 人の利用者  
→☆1400人達成
- シルバーカフェ登録者数 250 人  
→450人の登録
- フォーラム参加者数 計画60人  
→50人の参加者

#### 今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

シルバーカフェをなぜ誕生させたか、今一度考えています。一言で言えば「公助の限界」。毎年、高齢者を支える「医療・介護費」の増大。それに伴う国家予算の増加。そして、そのために発行される国債という名の借金。1人あたり800万円を超える借金となっています。国はその施策として明確に「共助の推進」をうたっています。これを～地域支え合い体制作り～という言葉で唱えています。しかしモデルとなる仕組みがありません。その実現がシルバーカフェのミッションです。そして分かったことは、実際に利用される方に参画頂き、共に共助の仕組みを作っていくことが肝要であること。今までのように国による仕組みづくりではなく、市民から作られる仕組みこそ、真義なものとなります。今後もこの姿勢を貫き、高齢者を支えるカフェ運営を進めていきたいと思えます。